

[増大特集] 脳とからだ

特集「脳とからだ」によせて	編集委員一同	370
I. 腸、免疫系、脳の相互作用		
腸内環境と神経疾患	三宅幸子	371
腸内細菌と中枢神経系炎症	宮内栄治・大野博司	375
免疫活性化と不安	宮島倫生・Sidonia Fagarasan	378
神経免疫システムと多発性硬化症	河野 資・井上 誠	382
腸内細菌によるストレス応答・行動特性の制御	須藤信行	386
ストレスによる炎症応答のメカニズムとその役割	谷口将之・他	389
交感神経系による骨髄の制御	栗生智香・他	393
交感神経によるリンパ球の体内動態の制御	鈴木一博	397
迷走神経を介した新しい炎症抑制メカニズム	寺谷俊昭・他	401
ゲートウェイ反射による血液脳関門への免疫細胞ゲート形成制御と 病態の誘導	田中勇希・村上正晃	405
中枢神経の障害がもたらす免疫系の変容と病態	上野将紀	409
II. グリアと脳の相互作用		
甲状腺ホルモンによるグリア細胞の制御	野田百美	412
中枢神経炎症制御と NG2 グリア	片岡洋祐・田村泰久	416
グリア細胞が作り出す神経機能異常による痛みや痒み	津田 誠	419
母体免疫活性化と自閉症スペクトラム障害	吉田文明・富田泰輔	423
ミクログリアによるシナプスの形成・刈り込みと自閉スペクトラム症	内野茂夫	426
ミクログリアと情動制御	澤田 誠	430
統合失調症の神経活動異常と神経免疫異常	平野羊嗣・加藤隆弘	434
アストロサイトによる情動制御	繁富英治・小泉修一	438
ミクログリアによる社会的意思決定の制御 —ミクログリアは無意識由来行動をつかさどる？	加藤隆弘	442
治療戦略から考えるアルツハイマー病の神経炎症	関谷倫子・飯島浩一	446
グリアの生理機能喪失による疾患と治療戦略	吉田賢治・他	450
III. 中枢と末梢の相互作用		
主観的感情と内受容感覚の神経メカニズム	梅田 聡	454
内受容感覚と感情認識—基礎的概念から臨床研究への展開	寺澤悠理	457
覚醒下手術による感情認識に関わる島皮質機能の解明 —脳とこころの脳神経外科学・認知神経科学の融合型研究	本村和也・他	461
脳身連関の神経機構：分界条床核の役割	南 雅文	464
ELKS による脳-末梢分泌システムの制御機構	濱田 駿・大塚稔久	467
IV. 内分泌系と脳の相互作用		
脳・消化管ペプチドからみたヒト行動調節	乾 明夫・他	471
オレキシンと情動	山中章弘	475
うつと糖尿病の悪循環を防止するオレキシン系を介した 睡眠・覚醒調節機構	笹岡利安・恒枝宏史	478
ペプチドによる摂食・エネルギー代謝調節研究の新たな展開	中里雅光	481
食欲制御のコンダクター：グレリン	佐藤貴弘・他	485
“やる気”の神経制御機構	内田俊太郎・櫻井 武	489
意志力の障害と脳病態	尾内康臣	493
慢性ストレス負荷と抗うつ剤による脳内モノアミン神経活動のバランス制御	那波宏之・他	497